

## 2019年度の年間の活動

### 1. 実施した活動

#### 1) 地区住民の親睦を深める事業

##### (1) イベントの開催

春：青いこいのぼりと春のフラワーフェスティバル (4/7)



夏：あおい地区青森ねぶたと子供だんじり夏まつり (8/19)



秋：ハロウィンパーティーと秋まつり (10/27)



- 冬：あおい地区星空イルミネーション（12/14）  
 ：あおい地区敬老会（9/15）  
 ：親子たこづくり教室（1/5～1/8）  
 ：親子たこあげ大会（2/2）



## （２）コミュニティ形成のための活動

- ・お茶会の開催（各地区自治会月1～2回）
- ・料理教室（月1回）

## （３）地区住民の見守り部会活動

- ：70歳以上の高齢者及び独居世帯（日中独居世帯を含む）を中心に見守り部会員10名2人一組で月1～2回訪問活動（訪問世帯現在210世帯）を「あおい地区」独自で行っている。
- ：訪問して得た情報はデータベース化して事務局で管理。
- ：見守り部会員の情報共有のため月1回会議を行い問題・課題を検討している。

：各地区自治会開催のお茶会に参加できない高齢者のため見守り部会で月1回お茶会を開催している。（笑茶会とネーミング）



朝の申送り



お宅訪問



次の訪問先の情報確認



訪問後の聴き取り

#### (4) 「あおい農園」の運営

東松島市が買い上げた被災跡地を借り受け(約1600㎡)元気な高齢者の介護予防、生きがいを目的に「あおい農園」を運営。今年度2年目で、「さつまいも」、「枝豆」を収穫。今後安定した財源確保のため収穫したものを二次加工し、販売コミュニティビジネスに結び付けたいと思う。(ハマナスを植栽し、ジャムへ加工することも検討。)



#### (5) 環境美化活動

- ①年2回の公園等の除草作業(1回目5/25参加者126名)(2回目10/25参加者91名)
- ②年1回メイン道路の側溝清掃作業(9/1参加者7名+東北福祉大外2大学学生20名)
- ③一丁目公園(お祭り広場)花壇にチューリップ約800本を植栽(10/30)  
4/5(日)開催予定の「青いこいのぼりと春のフラワーフェスティバル」に向けて植栽
- ④ペットクラブによるペット飼育・マナーに関する啓発活動及び散歩見廻り活動
- ⑤各集会所(3ヶ所)にイルミネーションの飾りつけ(点灯は12/14~1/11まで)
- ⑥集会所とは別にJR東矢本駅前公園に通年にわたりイルミネーションを設置

#### (6) その他活動

- ①年1回防災訓練の実施(6/16約500名参加)
- ②防災研修の受け入れ
  - : 大学生・高校生の受け入れ
  - 7/20 宮城石巻西高・7/20 栃木日光高・7/24 茨城佐竹高 7/24 兵庫高校生(選抜)・
  - 7/27 京都舞鶴日星高・7/27 兵庫淡路三原高・8/4 京都舞子高・8/5 三重県中、高、
  - 大学生(選抜)・8/8 兵庫宝塚、宝塚東高・8/8 東京新宿山吹高・8/10 青森五所
  - 川原第一高・8/20 大阪白鷺中・9/26 長野長野中
  - : その他受け入れ

6/8 三重四日市市地区役員・6/17 神奈川県ボランティアチーム・10/13NPO リーフ  
26・10/16JICAによる海外の方・11/29 東北工業大、仙南地区自治会・1/21 ソマ  
リア国の方々（JICA）

③ 支援活動

: 11/3 東松山市へ被災地支援活動として「さつまいも」の炊き出し支援

# 受賞を契機に新たに取り組んでいること

## 1. 維持管理活動

### 1) 公園管理

#### (1) あおい一丁目公園（お祭り・多目的広場）

前年まで青いこいのぼりとフラワーフェスティバルとしてチューリップをプランターに植栽し並べて展示していましたが、今年度から4/5（日）に向け花壇に植栽（約800本・10/30に植栽）

#### (2) 東矢本駅北公園（駅前広場）

「あおい地区」開発時JR仙石線東矢本駅（国鉄最後の駅）前公園にケアキを植樹、イルミネーションを飾る計画でしたが、ケアキはイルミネーションを飾るにはまだ小さく、受賞を機に電車から見えるよう通年でイルミネーションを設置

#### (3) あおい二丁目公園（健康づくり・憩広場）

20種類の健康遊具（全国一）があり老若男女が利用している公園ですが年2回の除草だけでなくこれまで以上に通年で除草作業を実施

#### (4) あおい三丁目公園（子ども公園）

あおい地区の公園で唯一複合遊具がある公園で、子供たちの安全確保の為、公園内の除草、子供の安全確保に努めている

### 2) 地区内維持管理活動

「ペットクラブ」による月1回のごみ拾いを兼ねた散歩見廻り活動の強化、「あおいさくら隊」による夜間パトロールを月3回実施し、地区内の「安全安心」の確保に努めている

## 調査検討費の使途

- 公園除草活動（参加126名：5/25実施）
- まちなみ賞受賞式出席交通費（1名分：6/20実施）
- 公園除草活動（参加91名：10/5実施）
- 公園美化（イルミネーション材料（集会所分含む）：12/3・18実施）

## 近い将来取り組まなければならない課題

### 1. 財源の確保

あおい地区会は現在宮城県・東松島市の助成金及び補助金により運営しています。しかし、今後復興創生期間が終了し、助成金、補助金が見込めなくなり事務局運営が難しくなるものと思われます。これから取り組む最大の課題は財源の確保です。

あおい地区の最も重要な活動の一つである「住民は住民で見守る」見守り活動の継続を推し進めるため東松島市に業務委託という形で補助金が交付されるよう働きかけています。

### 2. 農園作物の二次加工

現在「あおい農園」を運営し、2年間「さつまいも」や「枝豆を」収穫し、殆ど住民に安価で提供しています。しかし財源確保までは至っていません。今後、財源確保の為、二次加工を施し付加価値を高めることが必要と思われます。それには他作物の作付も検討しています。（例、ハマナスを収穫しジャムへ加工）

### 3. 植栽の管理

あおい地区は集団移転してから約5年が過ぎ、各公園や特に災害公営住宅に植樹された木々（低木が主流）の景観を保つため、今後剪定が必要になってくると思われます。そのための人材確保や道具の整備が不可欠になります。